

# バリアフリー情報の収集・活用に関する検討

---

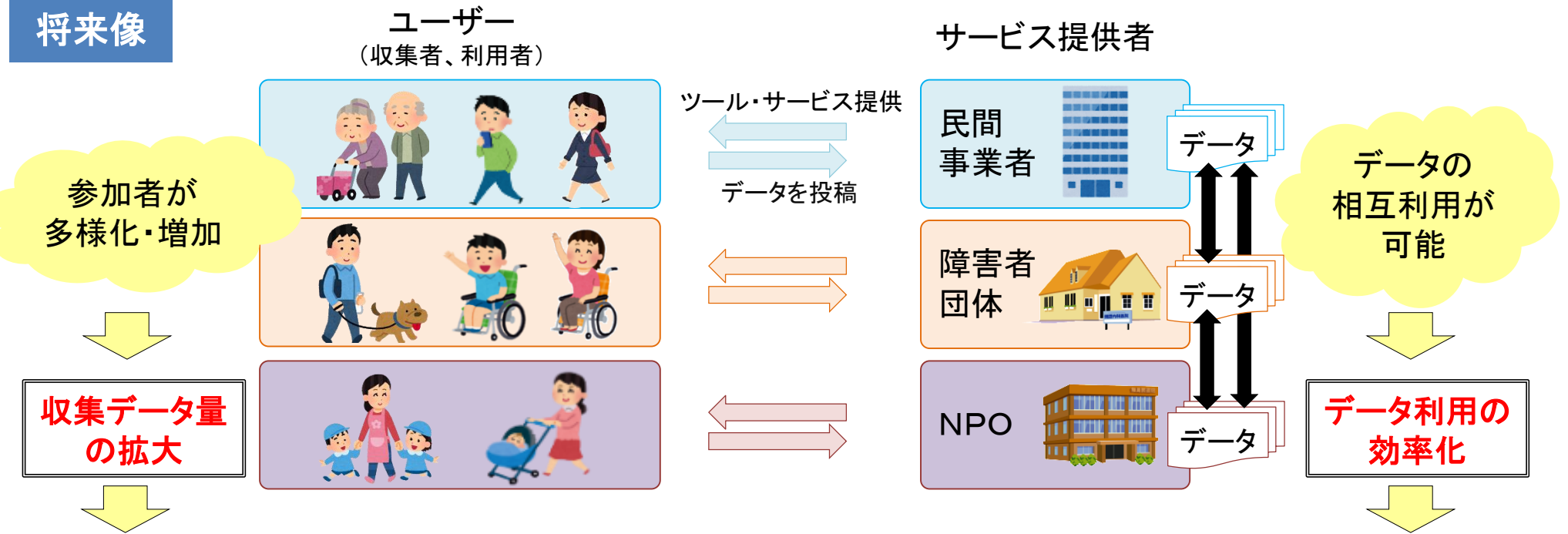
平成30年12月

政策統括官付

# 1. データ利用拡大・サービス充実に向けた取組の方向性

- サービスの充実には、データの量・質の確保及び、多くの者が利用しやすい環境を整備することが必要。
- 今年度の検討では、多様な主体の参画に向けたインセンティブの検討、及び新たなバリアフリーデータの信頼性確保を実証を通じて検証し、個人情報保護に関しては文献調査・ヒアリング調査により検証。

## 将来像



**<検討項目1>**

**多様な主体の参画に向けた環境整備**

- ・ 収集データ量の拡大に向け、多様な主体を収集事業に参画させていくための仕組みづくり
- インセンティブや個人情報保護

**<検討項目2>**

**新たなバリアフリーデータの収集・活用**

- ・ 多様な主体が収集したデータを効率的に利用していくために必要なデータのあり方
- データを共有するための共通仕様、データの信頼性

## 2. バリアフリー情報の収集・活用に関する検討方法(実証)

- 多様な主体を収集事業に参画させていくための仕組みの検討のため、**参加促進**、**収集促進方法**等を実証により検証（検討項目1）
- データの信頼性を住民投稿で**チェック・更新する仕組み**の有効性を検証(検討項目2)

実 証	多様な主体の参加促進、 データ収集促進に関する実証	バリアフリー情報のチェック・ 更新に関する実証
目 的	<ul style="list-style-type: none"> <li>①多様な主体の<b>参加促進</b>方法</li> <li>②インセンティブによるデータ<b>収集促進</b>方法の検証</li> </ul>	住民投稿による <b>信頼性確保の方法の有効性</b> の検証
実証内容 (概 要)	<ul style="list-style-type: none"> <li>①多様な団体・既存ユーザーからの紹介で収集イベントの参加者、アプリ登録者を募集</li> <li>②インセンティブによる投稿促進の効果を投稿ログの分析により 調査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存のバリアフリー情報の<b>変化の有無</b>を住民等により<b>確認(○×で判定)</b>し、データをチェック</li> <li>・<b>現状と異なる</b>バリアフリー情報を確認した場合、データを<b>更新</b></li> </ul>
備 考	利用アプリ:WheeLog !	利用アプリ:MaPiece

# 3-1. 多様な主体の参加促進、データ収集促進に関する実証

- 多様な団体(車いす関連団体、大学等)を通じた広報や知人からの紹介により被験者を募集。池袋駅周辺(東京都豊島区)でバリアフリー情報の収集を実施。(WheeLog!を使用)
- 情報収集後、一定期間投稿ログを取得して、投稿数などを分析

概要	
日時	12月1日(土) 10時30分～16時30分
場所	池袋駅周辺 (会場: 帝京平成大学)
参加者	多様な団体・既存ユーザーからの紹介で募集した35名
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>参加者は、街歩きの中でミッション達成を目指しながら、新規のバリアフリー情報を投稿</li> <li>一定期間投稿ログを取得して、投稿数などを分析</li> </ul>



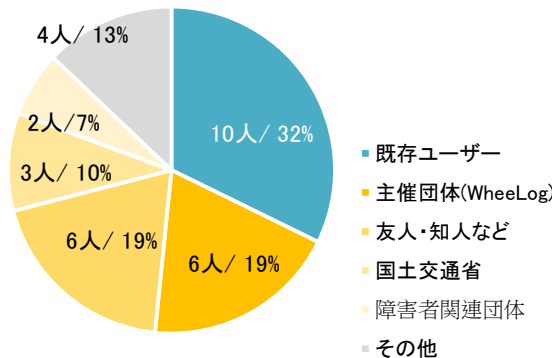
実施状況(事前説明)



実施状況(野外調査)

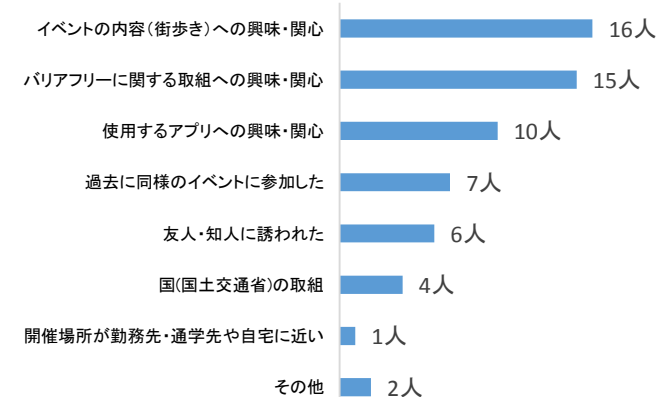
## アンケート結果(速報)

Q、実証イベントの紹介元(複数選択可)



(回答者: 全回答者31名、回答無し: 1名)

Q、実証イベント参加理由(複数選択可)



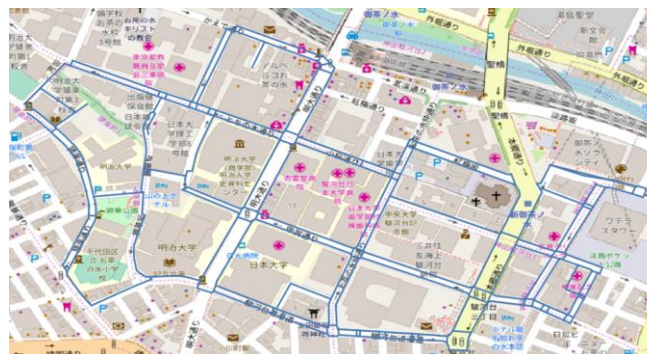
(回答者: 全回答者31名、回答無し: 2名)



## 3-2. バリアフリー情報のチェック・更新に関する実証

- 既存のバリアフリー情報と現地の整合状況について、利用者が○×でチェックし、変化や異なる情報を修正・更新する実証を実施。(MaPieceを使用)
- ネットワークデータのリンク総数363個に対し、参加者全体で174個のリンクに594件の確認(○×)投稿があり、そのうち、86個のリンクに190件の更新(情報の修正)投稿があった。今後、信頼性について分析を行う。

概要	
日時	12月18日(火) 13時00分～16時30分
場所	JR御茶ノ水駅周辺 (エリア全体のリンク数:363個)
参加者	多様な団体からの紹介で募集した19名(うち学生3名)
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>既存のバリアフリー情報の変更の有無を、住民自身でチェックし、情報を更新。</li> <li>今後、住民がチェック・更新した投稿ログを分析</li> </ul>



実証エリア(青線部分)



実施状況



バリアフリー経路案内



確認(○×)投稿画面



情報(勾配)確認状況・画面



- ・ スマートフォンを使いこなせない人でもチェックや更新ができる。簡単に誰もが参加できる。(10代、女性)
- ・ 通れない道はなぜ通れないかを考えるが、通れる道はあまり深く考えなかった。(40代、男性)
- ・ “○”が多いと信用できるし、“×”の意見も必要。投稿数を増やすことが大切だと思った。(20代、男性)

※ リンク：歩行経路を示す線で、バリアフリー情報等を付与することが出来る。